メモ

製造元	商品名
株式会社ミナミサワ 〒381-0044 長野県長野市中越1-2-22 http://www.minamisawa.co.jp ユーザーサポート窓口 TEL 0120-474-647 (平日 9:00〜17:30) FAX 0120-263-403 (24 時間)	自動水栓シャワリー ツインズ 品番 / 製造番号 購入年月日 年　月　日

MINAMISAWA

自動水栓 シャワリー ツインズ 取扱説明書

自動水栓付き シングルレバー混合栓

SHOWERY®
TWINS
シャワリー ツインズ

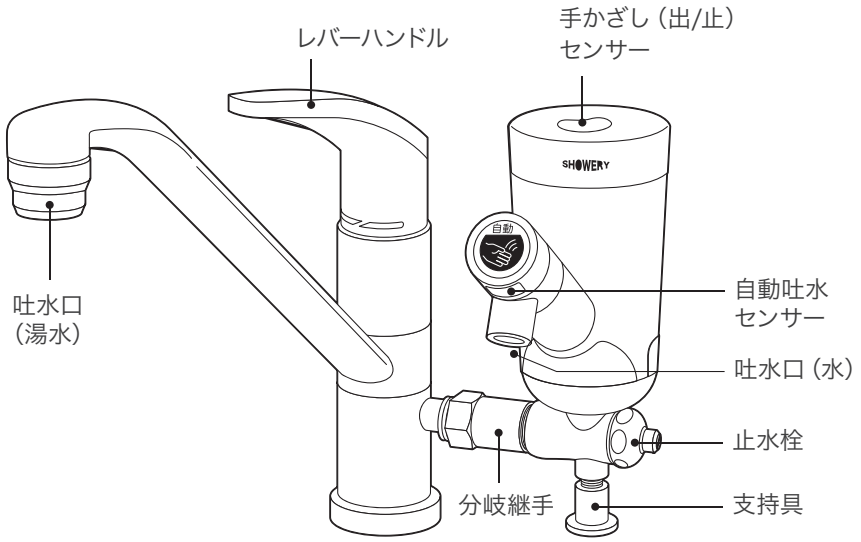
このたびは「自動水栓 シャワリーツインズ」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。本製品の機能が充分に発揮されますよう、
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

各部の名称	1	赤 LED 点滅パターン	9
本体寸法図	1	ストレーナーの清掃	9
使用方法	2	安全上のご注意	11
シングルレバー水栓の取付手順	3,4	故障かな?と思ったら	11
自動水栓の取付手順	5,6	仕様・製品の外観図面	12
電池交換	8	製品保証とアフターサービス	裏面

工事業者様へのお願い　必ずユーザー様へお渡しください。

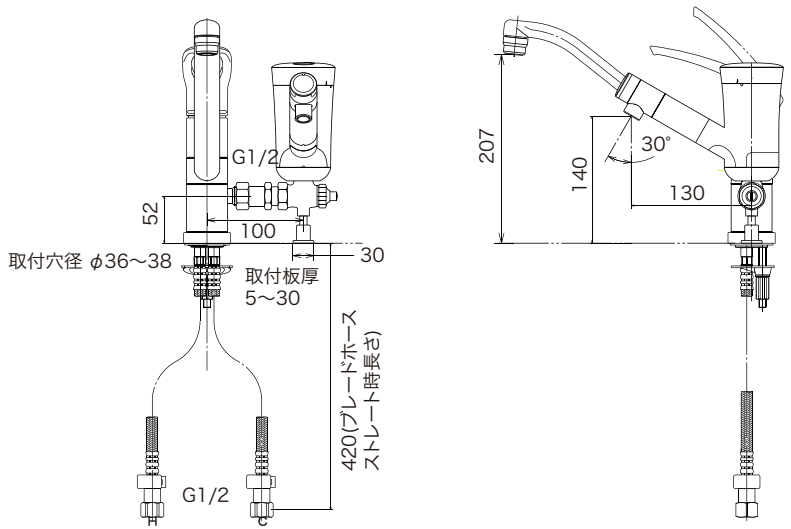
2018年12月現在 SWTW

各部の名称



・2つの蛇口を同時に使用することが出来ます。
・自動水栓は単水のみ（水のみ）の使用となります。

本体寸法図



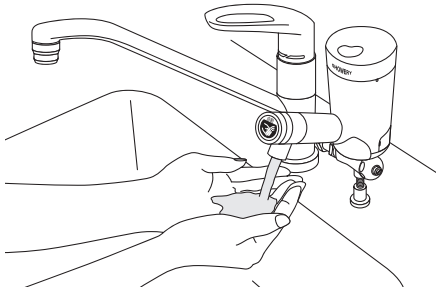
使用方法

自動水栓「シャワリー」は吐水口先端の自動吐水センサーと、本体天面の手かざしセンサーの２カ所のセンサーを搭載しています。

自動吐水

・吐水口に手を近づけると自動吐水します。
・手を離すと自動で水が止まります。

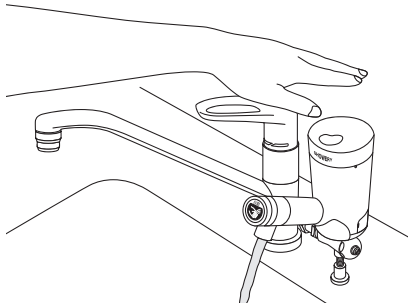
連続で手を洗っている場合は
30秒後に一旦止まります。



手かざし（出 / 止）機能

本体天面のセンサーに手をかざすと水が流れ、
再度手をかざすと水が止まります。

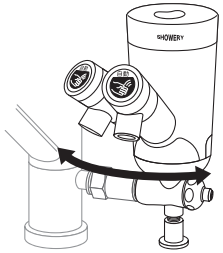
連続で水を出している場合は
60秒後に一旦止まります。



注意	自動ドアやリモコン制御製品、センサー式製品（ハンドドライヤーやソープディスペンサー）など、赤外線を発する製品がお近くにある場合は、使用環境によって天面の手かざしセンサーが反応し、水が出てしまうケースがあります。

本体が動きます

自動水栓本体は左右に動きます。



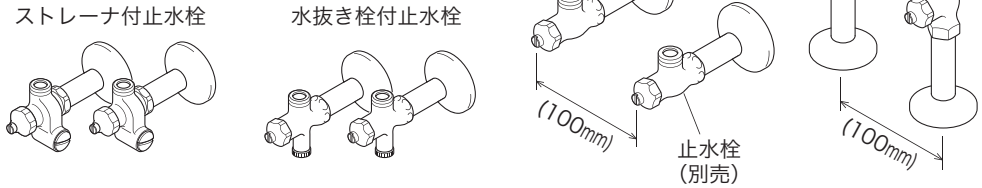
シングルレバー水栓の取付手順

STEP 1　給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

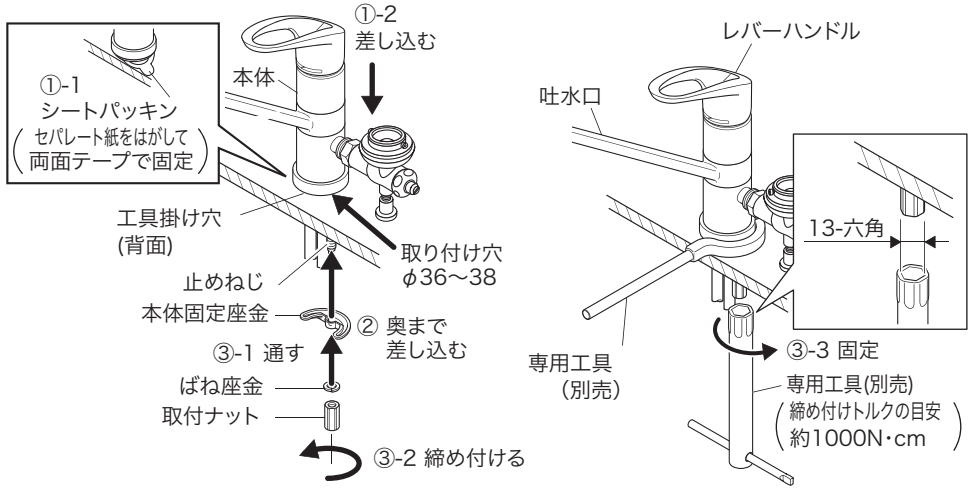
STEP 2　止水栓（別売）の取り付け

給湯管と給水管の間隔は100㎜程度で取り付けます。
止水栓はストレーナ付が最適です。
寒冷地仕様は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。



STEP 3　本体の固定

① 取り付け穴周囲の汚れを取り除いた後、本体裏側のシートパッキンのセパレート紙をはがしてから、本体背面の工具掛け穴が真後ろにくるように差し込みます。
② 本体固定座金の穴に止めねじを通し、本体固定座金を奥まで差し込みます。
③ ばね座金を止めねじに通し、取付ナットを締め付けて本体を固定します。

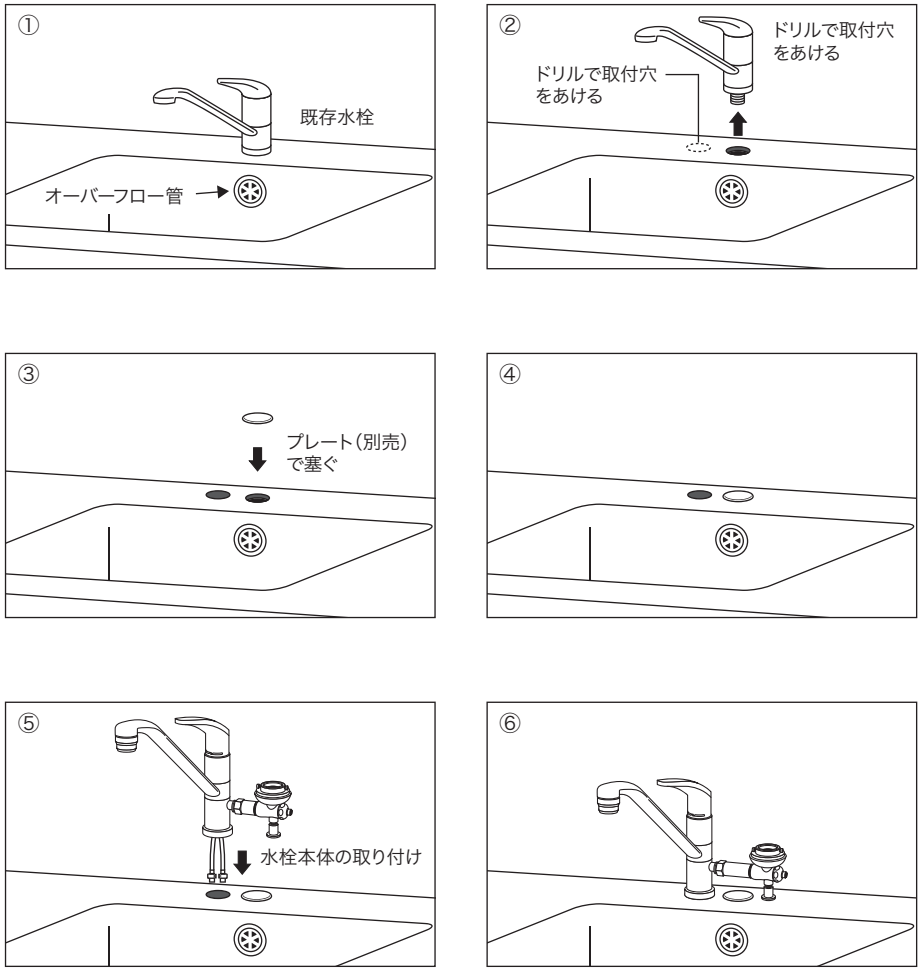


【⚠ 注意】
・セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
・専用工具(別売)を使用して本体を保持してください。レバーハンドルや吐水口を持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。
・取付ナットの締め付けは、専用工具(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けらいと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

オーバーフロー管付き流し台の場合の注意事項

オーバーフロー管が付いている流し台の場合、流し台下でオーバーフロー管と水栓ホースが干渉し、水栓本体が設置できない場合がございます。

その場合は、オーバーフロー管との干渉を回避するように、流し台にドリルで取付穴をあけ（φ36〜φ38）取り付けてください。（図参照）
また既設の穴はプレート（別売）で塞いでください。

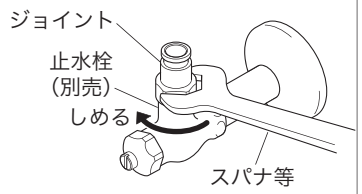


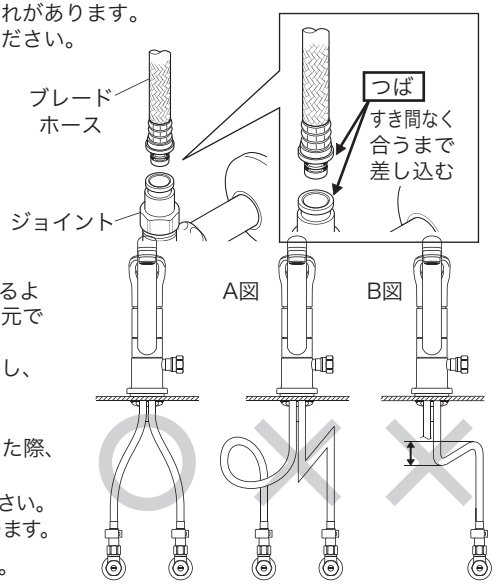
STEP 4　止水栓との接続

① ジョイントを止水栓に接続します。

【⚠ 注意】
・接続は適切な工具（スパナ等）で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
・薄肉の接続管（ニップル等）にはジョイントを接続しないでください。
パッキンが切れ、漏水して家財などを漏らすおそれがあります。
・止水栓がしっかり固定されている事を確認してください。
固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。
固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。

② ブレードホースのつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。

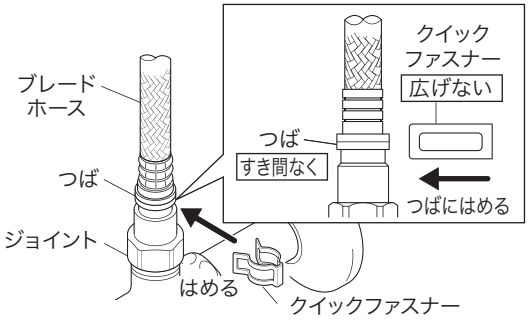




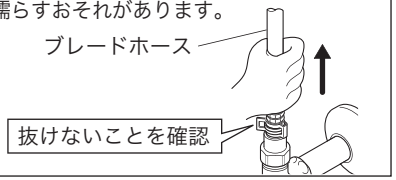
【⚠ 注意】
・ブレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)
急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・上下戻り配管はやめてください。(B図)
ウォーターハンマーなどでブレードホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
・ブレードホース同士などへの不要な接触は避けてください。
摩耗による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。

【お願い】ブレードホースは切断しないでください。

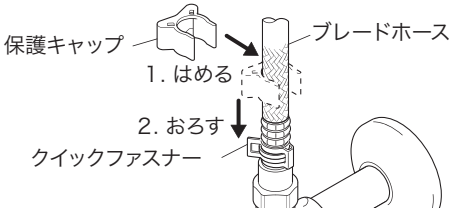
③ クイックファスナーを、ブレードホースとジョイントのつばにはめます。



【⚠ 注意】
ブレードホースを上に引っぱって、抜けないことを確認してください。
しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



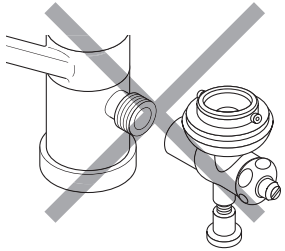
④ クイックファスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップはブレードホースにはめてから、クイックファスナーまでおろします。

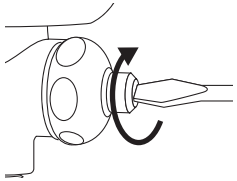


STEP5　分岐水栓の取り付け

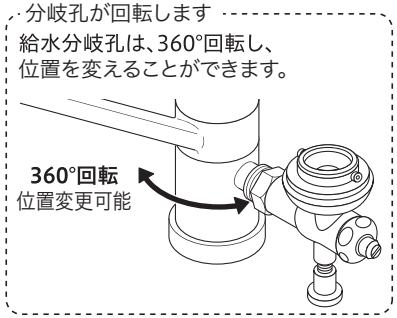
分岐水栓の使用上のご注意

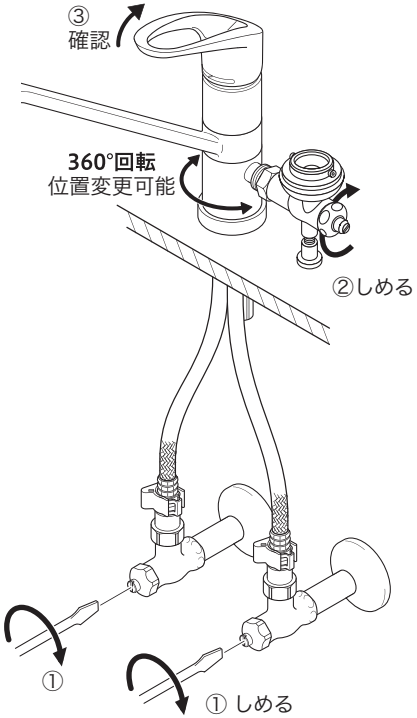
【⚠ 警告】
• 分岐接手（止水栓含む）は外さないでください。接続時以外にはずしますと、水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
• 水栓の設置後、湯水の止水栓（①）と分岐接手の止水栓（②）をしっかり閉めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。（③）





• 自動水栓を使用しない場合は、止水栓を必ず閉めてください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

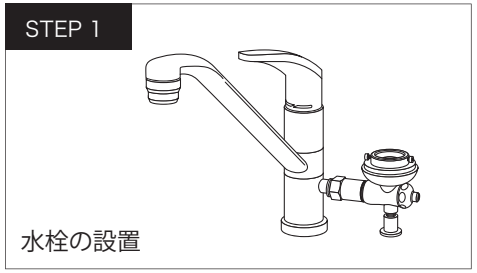




自動水栓の取付手順

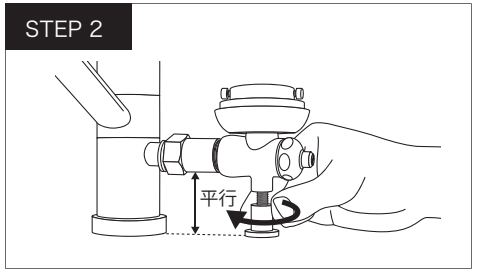
取付作業時にネジ、部品等を排水栓内に落とさないよう注意してください。

STEP 1



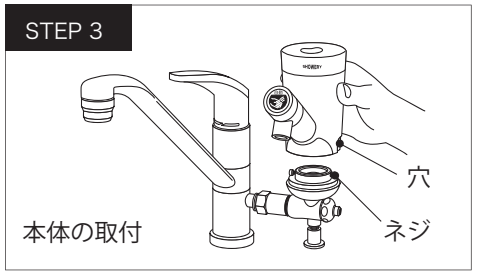
水栓の設置

STEP 2



接地面に対して分岐継手が水平になるように支持具を回して伸ばす。

STEP 3



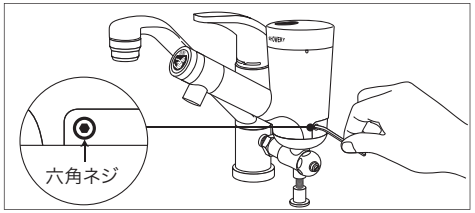
本体の取付

取付ベースに自動水栓本体をしっかりかぶせ、自動水栓側の穴と、取付ベース側のネジがちょうど合うところで固定する。

STEP 5 本体の固定

六角レンチで2ヵ所の六角ネジを締めて固定します。

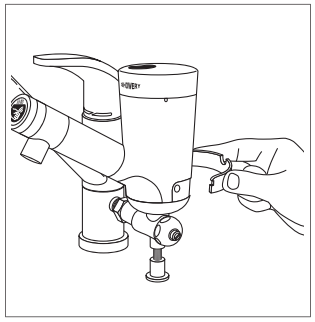
注意	左右均等に締めて固定してください。



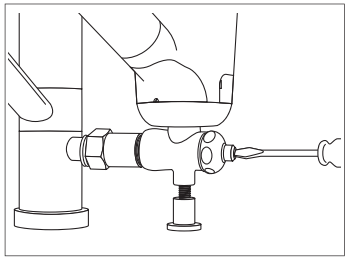
STEP 6 固定ネジカバー

固定ネジカバーをはめ込みます。

注意	カバーの向きにご注意ください。



STEP 7 止水栓を開ける



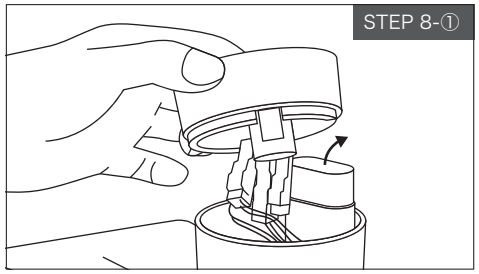
電池のセット

STEP 8 電池のセット

①キャップの取り外し

キャップの小さな突起とロック解除穴が合ったところでキャップを上に引き上げ、電池カバーを取り外します。(ロックした場合はP7参照)

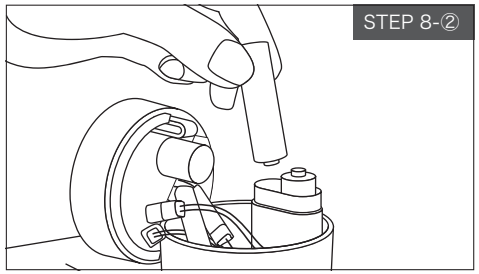
注意	ケーブル類は絶対に抜かないでください。



②電池のセット

付属の単三アルカリ乾電池を2本セットします。(電池の向きは電池カバーに記載)

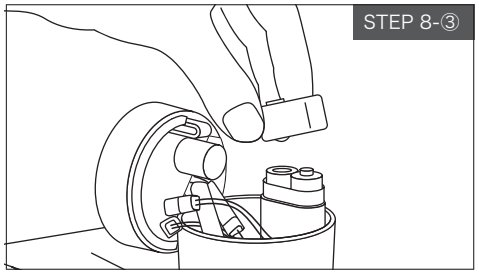
注意	電極の＋－の位置にご注意ください。



③電池カバーを被せる

注意	電池カバーの向きにご注意ください。

電池カバーをかぶせると、センサーの感知距離調整がはじまります。天面の赤LEDが消えるまでは、吐水口に手を近づけたり、障害物を置かないでください。



④キャップを装着

キャップの小さな突起とロック解除穴が合ったところでキャップを取り付け、時計回りに「カチッ」というまでずらしてください。

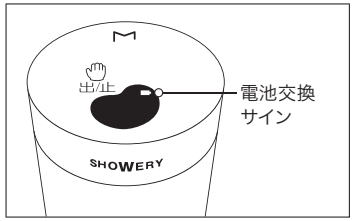
STEP 9 完成

本体下の止水栓をマイナスドライバーで開き、水量を調節してください。

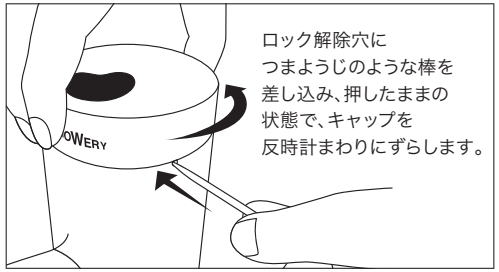
電池交換　※必ず新品の単三アルカリ乾電池をご用意ください。（マンガン乾電池は使用できません）

電池が消耗すると、天面のセンサ窓の赤LEDが常時点滅します。
このサインが出たら、早めに電池を交換してください。

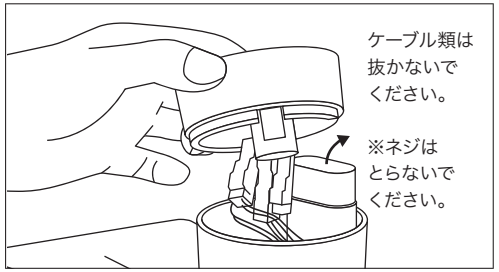
※上記サインが出ると、手かざし[出/止]機能は停止します。
また、しばらくは自動吐水が通常動作をし続けますが、やがて停止します。電池を交換することで復旧します。



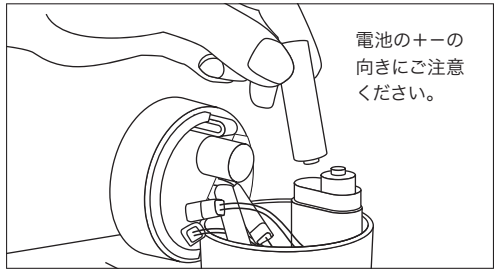
STEP 1　キャップのロック解除



STEP 2　キャップの取り外し

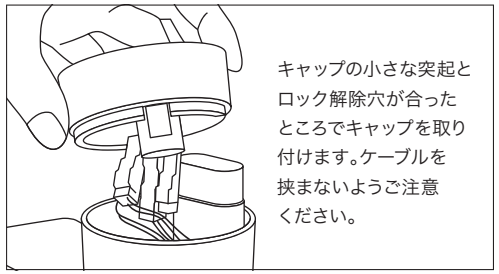


STEP 3　電池のセット



STEP 4　電池カバーを被せる

STEP 5　キャップを被せる



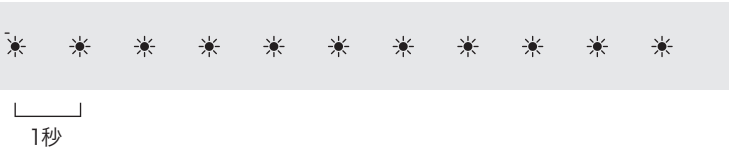
STEP 6　キャップを装着

赤LED点滅パターン

秒数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

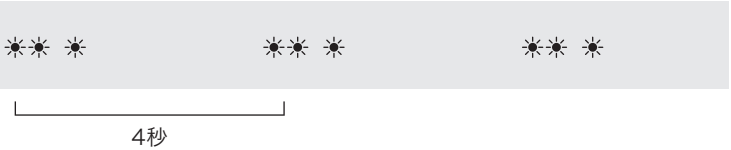
【電池交換予告】

赤LEDが
1秒間隔で1回点滅



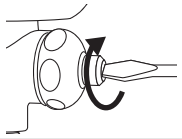
【動作停止表示】

赤LEDが
4秒間隔で3回点滅



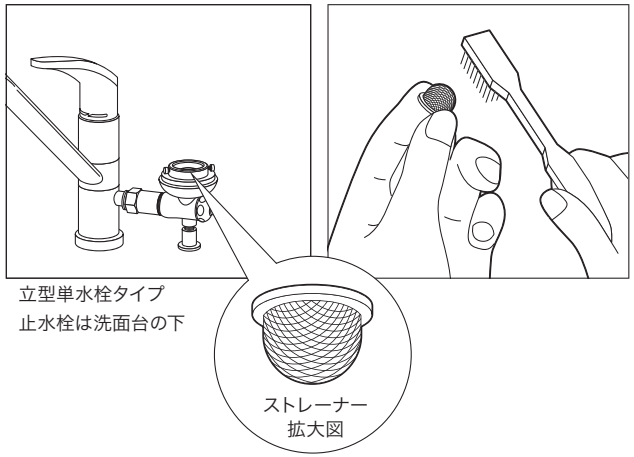
ストレーナーの清掃

必ず止水栓を閉めてから、本体を取り外してください。
止水しないまま本体を取り外すと漏水します。



本体の取り外しは各製品取付手順（P6）の「本体の固定」を参照ください。

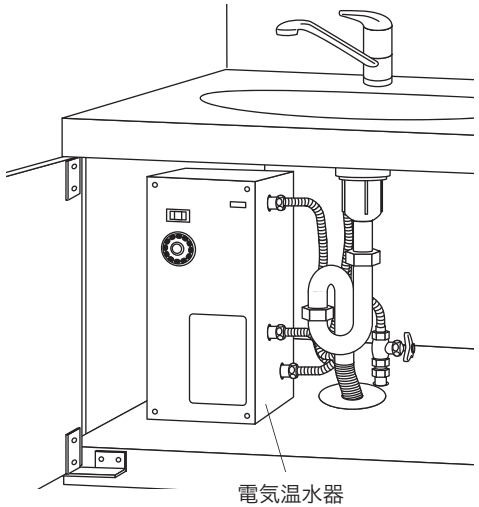
右図の位置にセットされているストレーナーを取り外して歯ブラシで擦りながら水洗いし、ゴミや汚れをよく落としてください。



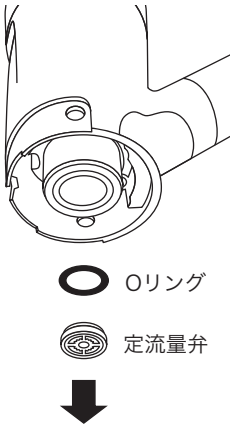
電気温水器がある場合の注意事項

洗面台下に電気温水器が設置されている場合、
水圧の低下で水の勢いが弱くなる事がございます。

その場合は、自動水栓本体に内蔵されている定流量弁（図参照）を取り外してください。



<取り外し方法>
精密ドライバーのような細い棒で、定流量弁とOリングを取り外す。



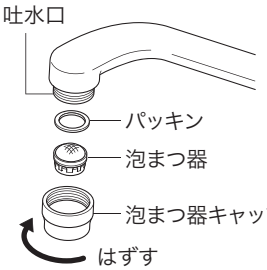
取り付け後の点検と清掃

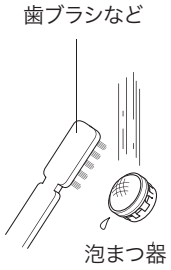
通水確認

【⚠注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

泡まつ器清掃のお願い

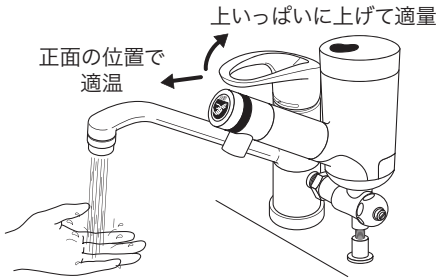
吐水口の泡まつ器にゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。
① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
② 吐水口の泡まつ器キャップをはずす方向にひねって、泡まつ器を取りはずします。
③ 泡まつ器をブラシで水洗いします。
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

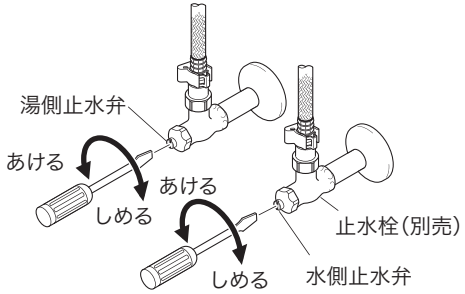




湯温・流量調節

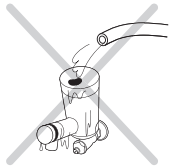
レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、
全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。





安全上のご注意

- 本製品は電子機器です。直接水をかけないでください。水がかかりますと動作不良や乾電池のショートによる発熱、発火等の原因となります。
- 水温40℃以上のお湯が出る状態で使用しないでください。
  吐水口からお湯が出てやけどをするおそれがあり危険です。
- 本体の天面は手かざしセンサーです。物を置かないでください。
- 本製品は屋内用です。屋外では使用しないでください。
- 高温多湿な場所では使用しないでください。
- 凍結のおそれがある場所では使用しないでください。
- センサ部の汚れは誤動作の原因となりますので
  汚れがある場合は柔らかい布で拭き取ってください。
- 本体やセンサ部をたわしやブラシ等で擦らないようご配慮ください。



故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったら、以下の事項をご確認ください。
状況が改善されない場合は、ユーザーサポート窓口:0120-474-647へ
お問い合わせください。

緊急時の止水方法

万が一水が止まらなくなった時は、止水栓、または、水道の元栓を閉めて止水してください。
そのまま放置しておきますと、漏水による事故の原因となります。

現象	対処	参照
水が流れない	電池を交換してください。	P7
	障害物を取り除いてください。	P8
	止水栓を十分開けてください。	
	直射光を遮ってください。	
水が止まらない	手かざしセンサの障害物を取り除いてください。 センサ部をよく拭いてください。	
水量が弱い	止水栓を開いてください。	P8
	ストレーナの清掃をしてください。	
LEDが点滅している	P8の点滅パターンをご参照ください。	P8

仕様

使用電源	単三アルカリ乾電池2本	
電池寿命	1日100回の吐水で約2年	
電池交換予告	赤LEDが点滅し、電池交換をお知らせ	
吐水	自動吐水	吐水口に手を近づけると自動吐水（連続吐水時間30秒間）
	手かざし（出/止）機能	本体天面のセンサーに手をかざすと水が流れ、再度手をかざすと水が止まる（連続吐水時間60秒間）
センサ方式	赤外線反射方式	
作動弁方式	パイロット型電磁弁	
給水圧力	最低必要水圧 0.05MPa　最高水圧 0.74MPa	
吐水量	止水栓により調整　定流量弁により最大約4ℓ/分（泡沫吐水）	
使用温度範囲	周囲1～50℃　水温 1～40℃	
外装	キャップ、スパウト(クロムメッキ)、ボディ（樹脂塗装）	

製品保証とアフターサービス

本製品の保証期間はお買上日より1年間です。詳細は同梱の製品保証書をご覧ください。
製品保証をお受けいただくためには、品番・製造番号・お客様名・工事店または販売店が明記された製品同梱の製品保証書のご呈示が必要です。本製品を設置またはお買上いただいた際は製品同梱の製品保証書に必要事項が明記されていることを必ずご確認いただき、紛失しないように保管してください。保証期間（1年）以降の交換の場合は有償となります。

修理のご相談はお求めの下記、取付店・販売店へ

取付店・販売店　〒

電話番号:　　－　　－

保証期間内でも次の場合には有償交換となります。

① 取扱説明書に従わない誤った使用、およびお客様自身での修理や改造による不具合、損傷。
② お買上後の落下、衝撃などによる不具合および損傷。
③ 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変や凍結、ガス害、塩害による不具合・損傷。
④ 電池の消耗による不具合。
⑤ 上水道以外の水を使用したことに起因する不具合。
⑥ 配管から流入した砂、さび、ゴミなどの異物による不具合。
⑦ 外部の汚れ、さび、メッキはがれなど、機能に影響のない不具合。
⑧ お買上日を証明する書類（本体 製造番号）のご提示がない場合。
※ 本規定は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.